

入札等監視委員会の議事概要の公表について

北九州市入札等監視委員会の令和4年度第1回定例会議を次のとおり開催したので、別添のとおりその議事概要を公表する。

記

開催日時 令和4年5月26日（木） 14：00～15：30

開催場所 本庁5階 特別会議室A

令和4年度第1回北九州市入札等監視委員会 議事概要

1 会議名

令和4年度第1回北九州市入札等監視委員会

2 開催日時

開催日時 令和4年5月26日(木) 14:00~15:30

開催場所 本庁5階 特別会議室A

3 出席委員(五十音順)

城戸 将江、古林 節子、田籠 亮博、樋上 弥寿子、森江 由美子

4 議事

(1) 北九州市入札等監視委員会 委員長選出

ア 森江委員が委員長に選出された。

(2) 北九州市入札等監視委員会 委員長職務代理者指名

ア 田籠委員が委員長職務代理者に選出された。

(3) 令和3年度第4四半期の工事契約状況等の報告

ア 次の事項について報告した。

- ・工事契約件数及び契約金額について
- ・建設工事等有資格業者に係る指名停止及び資格取消について

(4) 令和3年度第4四半期の工事契約抽出案件の審議

ア 抽出方法について

審議する案件は、令和3年度第4四半期に契約をした工事の中から、田籠委員が10件(契約課契約分8件、東部整備事務所分2件)を抽出した。

イ 審議における質疑等

(問) 総合評価、一般競争入札による建築工事で、3億円を超える大型工事のため詳しい入札状況を知りたく抽出した。

(答) 参加申請は12者で、6者が辞退や不参加等のため、最終的に6者での入札となった。落札業者の入札金額は4位だが、技術力や人材の確保・育成など価格以外の評価点が1位となり、評価値でも1位となったため落札した。

(問) 総合評価、一般競争入札による土木工事で、技術点が1位で、落札金額が10位のため、詳しい評価内容を知りたく抽出した。

(答) 参加申請は19者で、6者が辞退、13者による競争となった。落札業者の入札金額は10位だったが、価格以外の評価がほぼ全ての項目で最高点となり、評価値でも1位となったため落札した。

(問) 総合評価、一般競争入札による建築工事で、どのように業者選定をしたのか知りたく抽出した。

(答) 市内の建築Aランク業者の参加を募ったものである。高度な安全対策が必要な工事のため、参加申請は5者で、1者が辞退、4者による競争となった。落札業者の入札金額は4位だったが、価格以外の評価点が1位のため、評価値でも1位となり落札した。

(問) 一般競争入札による造園工事で、詳しい工事内容を知りたく抽出した。

(答) 工事内容は、響灘緑地（グリーンパーク）の大芝生広場西側にキャンプ場を整備するための造成工事である。既存アスファルト撤去や、新しい園路の舗装・植栽・芝張りの基盤整備を行うものである。

造園の市内Aランクの業者を募った。参加申請は20者で、1者が不参加、1者が先行して開札した案件の落札による取消のため、18者による競争が行われた。ランダム係数が高かったことも影響し、最低制限価格が高めとなり、最低制限価格を下回った業者が15者と多かった。その結果、最低制限価格をわずかに上回る価格で入札した業者が落札した。

(問) 一般競争入札による土木工事で、業者数が多いため、詳しい入札状況を知りたく抽出した。

(答) 土木の市内Aランクの業者を募った。参加申請は39者で、8者が辞退、31者による競争となった。標準的な道路改築工事であるため、多くの業者が参加した。

(問) 指名競争入札による建具工事で、落札率が高いため、詳しい入札状況を知りたく抽出した。

(答) 市内建具業者で、手持ち工事のある1者を除く7者を指名した。最近の木材価格等の資材の高騰もあってか、各者の入札価格は高めとなり、落札率が高くなった。

(問) 指名競争入札による土木工事で、3億円を超える大型工事であり、26者の指名競争入札にした理由について知りたい。

(答) 本件は高度な技術力を要するPC（プレストレストコンクリート）を用いた工事であるが、市内業者のみでは競争性を確保できないため、市外業者も含めて26者を指名した。なお応札者は6者であった。

(問) 特命随意契約による機械器具設置工事で、4億円を超える大型工事であり、1者の特命随意契約となった詳しい状況について知りたい。

(答) 工場の焼却炉の一部である燃焼室の耐火物等の更新を行うもので、製造した業者と特命随意契約したものである。理由としては、焼却炉の全体構造、運転状況を熟知し、メンテナンスのノウハウを持っている業者以外では、工事を円滑かつ確実に施工することが不可能であるため、1者の特命随意契約となった。

(問) 指名競争入札による舗装工事で、業者数が8者のため、適切な業者数だったのか入札状況を知りたく抽出した。

(答) 舗装の東部地区のAランク業者を指名した。受注が偏らないよう、前回に開札した工事を落札した業者は本件で指名していないため、8者の指名となった。

(問) 指名競争入札による舗装工事で、工事内容を知りたく抽出した。

(答) 令和3年度は川の左岸を整備しており、今回は右岸側の工事である。

工事場所の川岸は水田の近くにあり、一般の通行用道路ではない。河川の増水時の災害対策や、地震発生時の点検など迅速にその場所へ行けるように整備している箇所である。未舗装であり、草が生えると通行の妨げとなるため、主に防草目的で舗装するものである。他にも法面部分のコンクリート補強を行っている。